

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2009 3 25
No. 982

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

福祉日本一の名古屋を
太田よしろうさんとともに
実現しよう
名古屋市長選挙投票 4/26

賃金があがった! みんなの 組合をつくって 要求実現



執行委員のみなさん(左から3人目が磯脇さん)

春日井市学校給食会分会は、09春闘で大幅な賃金改善を勝ち取りました。春日井市学校給食会で働く労働者の賃金は、経験年数や年齢が高くて1級の7号で頭打ちです。たとえば33才の男性が給食会では、1級7号・月額16万5000円ですが、春日市労務職だと1級16号・21万4500円です。この賃金格差を是正させようとたたかいて進めた結果、組合員のほとんどが、2号昇給の賃金改善を勝ち取り、組合員から組合がなければ給料は上がらなかった」の声が広がっています。執行委員長磯脇さんに話をうかがいました。

組合がなければ給料はあがらなかった

春日井市学校給食会分会 賃金改善の要求をはじめは、組合を結成して2年「必要な消耗品が支給されず困っている」ので改善してほしい、と要望を出した。その後、念願の賃金改善がされました。交渉の中で、当初に「最初にその給料で納得して入ったのではないかと」言われ、それを突破するのが困難でした。一緒に働いている春日井市職員労務職のひとりの同一賃金同一労働を訴えました。そして「低賃金で月給だけでは毎月赤字で生活にとても困っています。今年小学校に子どもがあがるのですが、その準備もままなりません。学習机も買つのもためらってしまいます。低すぎる給料水準のせいです」と生活苦のリアルな実態も訴えました。「春日井市職員の仲間も団体交渉に参加して

応援をしてくれ、とても心強かったです」とたたかいをふりかえります。

ひとりひとりの要求を大切に

学校給食会分会では、全員参加型の活動を大切にしています。毎回、機関会議や学習会、団体交渉など80%の組合員が参加しています。「今回のたたかいの中でも、組合員の中には給料だけでなく、雇用の安定などさまざまな要求がありました。だから、みんなの意見を聞くことを大切にしました。一人一人と話し、



定期大会にも全員が集合(今年度の大会より)

「組合がないときは、個人で何かを当局に言っても、何も聞いてくれませんでした。組合をつくったことで、対応がまったく変わりました。当局も担当が変わり、交渉していく中で、担当者も給食会の賃金実態をわかっていないことがわかりました。「間違いなく組

納得してもらい一緒にたたかうことを大切にすすめてきました」と職場要求を大切に活動していることがわかります。

組合をつくってよかった

「組合がないときは、個人で何かを当局に言っても、何も聞いてくれませんでした。組合をつくったことで、対応がまったく変わりました。当局も担当が変わり、交渉していく中で、担当者も給食会の賃金実態をわかっていないことがわかりました。「間違いなく組

合がなければ給与は正しくなかったと思います。就業規則の不備も全然知らなかったし、低賃金もなんとかしなければと思っていましたが、どうすればいいのか、方法がわかりませんでした。組合をつくりみんなで学習し活動していく中で、自分たちには権利があり、権利を主張することができました。本当に組合をつくってよかったです」と話してくれました。

組合員からは、「給与は正を要求することで、クビになるのではないかと」言う不安の声もありましたが、たたかいた結果、是正を勝ち取り、「組合がなければ給料はあがらなかった」という声が聞かれました。しかし、今回の是正は、残念ながら若年層には適用がされず、3人が対象外になってしまいました。「3人もなんとか救えないか」という声も出ています。

最後に今後のたたかいの方向をうかがいました。「今回、対象外になってしまった組合員も含め、全員の賃金が上がるようにしたいです」「安定した生活が出来るように、安心して安全な給食を子供に提供できると思います。決して高望みはしません。せめて人並みの生活がしたいです。そうなれるような給料がもらえるようにこれから頑張りたい」と力強く話してくれました。

ようこそ 新入職員 のみなさん

即日24名が加入

西尾市職

西尾市職員組合は、3月9日(月)昼休みに新年度の新規採用職員に対し組合説明会を行いました。

当日は、33名の新規採用職員(本庁、保育職)が参加しました。

最初に榎本書記長から組合



組合の説明を熱心に聞く新入職員

の概要説明がありました。書記長は、「愛知県や岐阜県で賃金が削減される状況があり、西尾でも少なからず影響が出ると予想される。また、職場でも仕事が増え、残業が恒常化している職場もある。そのようななかで自分たちの賃金や労働条件を守り、職場の改善を求めているのが組合である。組合がきちんと当局と交渉し、自分たちの賃金労働条件を守り、職場を改善してゆかためにもここにいますみなさん全員が組合に入ってください」と訴えました。

その後、若手の執行委員、組合員5名から組合に加入してほしいというメッセージを一言ずつ伝え、最後に築瀬委員長より、組合に全員が加入して、市民に信頼される西尾市役所と一緒に頑張ってほしい」と訴えました。

この日には、早速24名から加入届けが提出されました。この日参加した役員は、4月1日には、全てにあたりきり、100%加入を目指す決意が確認されました。

梅野委員長は冒頭、「派遣切り、期間工切りが進んでいるが、自治体の内部でもワーキングプアといえる非正規職員が増えている。派遣法では3年経てば正規

3月11日

『恒常的業務は 正規職員で』

市町村課交渉

雇用だが、自治体の場合は10年経っても処遇が改善されない」とあいさつ。

市町村課長谷川主幹は



市町村課交渉のもよう

自治労連共済は
組合の共済だから
安い掛金で大きな保障

「言いたい劇場」 小菅りや子



多くの仲間が参加したフットサル

第1回県本部フットサル大会

おきプロブレ企画

優勝は名水労チーム

3月14日、長久手町にて第1回県本部フットサル大会が行われ8単組(名古屋市職労、名水労3、港職労2、瀬戸、犬山、西尾、幸田、吉良)11チーム98名が参加し、冷たい雨が降ったりやんだりの悪いコンディションの中、熱戦が繰り広げられました。予選では、地力に優る名古屋ブロック勢が占め、決勝は名水労中村工務店(有)チームと名古屋市職労環境局支部(MFC)の対戦となりました。個人技が光る両チー



熱いたたかいが

「労働協約権問題については、自立的労使関係を構築する方向に踏み込んでいく。引き続き動向を注目していく。」と述べました。

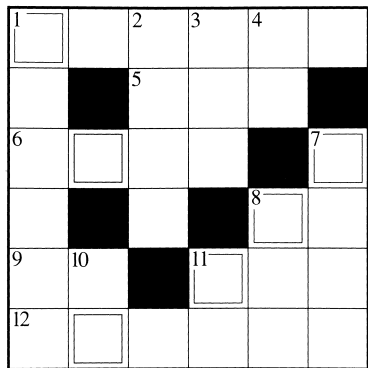
交渉では、住居手当について「組合が、地域に住んでこそ地方公務員としての責務が果たせる」と追求し、「国と地方では実態が違つことは理解する。国にも要望が強いことを伝える」と回答。現業職員の不採用問題に関しては「行政サービス低下を招くようなやり方は不適切。コストだけが判断材料ではない」として、臨時非常勤職員に関しては、「恒常的業務は正規職員で対応すべき」と回答を引き出しました。

おたのしみ プレゼント クイズ

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場を八ガキに書いて送ってください。抽選で10名に図書カード1冊(1000円分)を贈呈します。

〒462-10845
名古屋市北区柳原3丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部 締め切りは3月31日必着。八ガキに必ず近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など書き添えてください。

クロスワード パズル



【ヨコのキー】①教育課程 ⑤前もっての判断。——を許さぬ事態 ⑥二十四節季の一つ。最も寒い頃 ⑧役柄が

⑨〇〇に付いてきた ⑩英語で手に入れるという意味 ⑪〇〇に頼る ⑫〇〇がよい、〇〇拍子

単組定期大会 役員紹介

学事労(2月27日)
執行委員長 箕浦 磯二
副執行委員長 佐藤 悦子
書記長 小川 あき子
書記次長 松浦 幸枝

当選者

クイズの
978号の答えは「フク
ワウチ」でした。52通の応

柴田 明子(名古屋市中職労)
横田 智大(名古屋市中職労)
岡本 武久(豊橋市中職労)
村田 昌彦(豊橋市中職労)
神藤 洋(豊橋市中職労)
作石 貴則(瀬戸市中職労)
北瀧 純大(瀬戸市中職労)
森岡八千代(学事労)
塩野 陽太(清須市中職労)
吉本小枝(春日井市中職労)

募があり全員が正解でした。以下の方に図書カードを送ります。